
Monster Carp Fishing in Japan

– Meeting –

Archives “31th – 40th”

MCF Japan
www.mcfjapan.net

目 次

第 40 回オフ会	2012 年 10 月 6 日～8 日	北浦	1
第 39 回オフ会	2012 年 5 月 12 日	荒川	5
第 38 回オフ会	2012 年 1 月 9 日	隅田川	8
第 37 回	2011 年 11 月 12 日	荒川	12
第 36 回	2011 年 10 月 1 日～2 日	常陸利根川	16
第 35 回	2011 年 5 月 15 日	荒川	20
第 34 回	2011 年 1 月 15 日	隅田川	24
第 33 回	2010 年 11 月 6 日	荒川	28
第 32 回	2010 年 10 月 9 日～11 日	北浦	32
第 31 回	2010 年 1 月 30 日	隅田川	37

第40回オフ会 2012年10月6日～8日 北浦

参加：平石さん、中ソンさん、mi○

第40回MCFオフ会は、連休に北浦で開催されました。二年ぶりにオフ会参加の平石さん、春から単独釣行を続けて来た中ソンさん、そして今シーズン満足な釣果が出ていないmi○の三日間をレポートします。



6日（土）夕方、平石さんとmi○が北浦のオフ会会場に到着しました。一足遅れて中ソンさんが20時半頃到着。直線に近い護岸に、上流からmi○、中ソンさん、平石さんの順に並んで竿を出しました。セッティングが終了してから、中ソンさんの車に集まって0時近くまで歓談。そして各自車に戻って就寝直後、中ソンさんに当りがあ

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

りました。夜中なのでひとりで取込み、タモも使わずに岸際で釣を外して即リリース。80cmクラスの鯉だったそうです。青師の中ソンさん、鯉は大型でない限りは計測しないらしいです。

深夜、激しい雨が車を叩く音で目が覚めましたが、睡魔が勝ってまた眠りに引き込まれました。三人に当りがないまま翌日の朝を迎えます。9時少し前、中ソンさんと話し込んでいたmi○のセンサーがスイッチオン。中ソンさんのアシストで無事に取り込みました。水から上げられた鯉はいかにも元気そうな体型。二人で「綺麗な鯉だね」と話しながら写真撮影。



その後午前中は誰にも当りがないまま過ぎました。午後からの当りに備えて、平石さんは入念に餌を打ち返します。中ソンさんは用事があってこの日の夕方には帰宅する予定でしたが、急遽状況が変わってもう一晩泊まり込むことができるようになりました。

風が結構寒く感じるので、温かい鍋でもつつきたくくなりました。mi○が16時頃食材を買い出しに出掛けます。

スーパーで買い物をして車に戻ると、車内に置いていった携帯が鳴

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

っています。

mi○「あ～、来ちゃったか...」

中ソン「当りましたよ～。でも今ラインの出は止まってまーす。」

mi○「それじゃーそのままにしておいてください。」

急いでも仕方ないので、安全運転で釣り場に戻りました。着いてみるとラインがだいぶ出たらしく、スプールが細くなっています。「もうバレたかな?」と思いつつリールを巻くと、まだ付いている感触。

「ラッキー!」と思った瞬間、すっぽ抜け。結局はばらしてしまいました。

鍋の準備をしている間にも、mi○に一回当たりがあり、中ソンさんは夕方から21時にかけて3回当たり。すべて取り込むことができました。中ソンさんは、取り込むとすぐにリリースします。一枚くらいは写真が欲しいので、中ソンさんに鯉を持ってもらうようお願いして撮影しました。中ソンさんは、「鯉を持つなんてひさしぶりだなあー。」とのことでした。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

その夜は時々雲の切れ間から、綺麗な星空をみることができました。中ソンさんは最近お子さんと天体望遠鏡で星を観ているそうです。この夜は、三人で双眼鏡を使ってプレアデス星団を眺めて過ごしました。これも水郷釣行の特典です。

深夜から翌朝にかけて mi○の当りが続きます。0時過ぎに最初の当り、その直後に二本目、5時に三本目。この三本目は中ソンさんに当たった鯉と交差し、ふたりともセンサーが入って飛び起きました。そして仲良くそれぞれ取り込むことができました。

5時半頃、中ソンさんが早い帰宅。見送った後、7時までに mi○はさらに三本の当り。水郷では非常に珍しい数釣りオフ会です。

mi○は10時過ぎに撒収、平石さんはお昼過ぎに撒収となりました。震災復興工事真っ盛りの北浦ですが、無事にオフ会を開催することができて本当に良かったと思います。

(レポート：mi○)

第 39 回オフ会 2012 年 5 月 12 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、並継のこぶちゃん、さきちゃん、mi○

「セッティング終了。目の前でたくさんもじっています。」時計は朝 6 時。ぼらひでさんからのメールが入りました。「おおっ、気合い入っているな...」受信した mi○は宇都宮から荒川に向かう途中ででした。去年は荒川の鯉に振られっ放しでしたので、今日はなんとかあの丸々とした鯉の引きを楽しんでみたいものです。

ぼらひでさんのお宅の駐車場をお借りして道具を車から降ろしていると、自転車に乗ったおじさんから声を掛けられました。「おはようございます。」返事を返してふと見ると、なぜか釣り場にいるはずのぼらひでさん。「万全に準備したはずなのに忘れ物が...」春先から思うように釣りに行けなかったため、久々の釣りで調子が狂ったようです。

ぼらひでさんと一緒に釣り場に着くと、こぶちゃん親子が待っていました。「おはようございます。」さきちゃんも元気に挨拶。ぼらひでさんが一番手で着いた時はもじりがあったようですが、こぶちゃんが着いた時はもう水面がおとなしくなっていたとのことで、若干心配されます。午前 10 時頃上げどまり、午後 4 時半頃が下げ止まりですので、その潮の動きから当たりを予想して餌を打ち返すのが気水域の釣りの定石です。

9 時過ぎ、一発目の当たりがぼらひでさんの竿に。いつも通りカメラマンは mi○、タモ係はこぶちゃんと自然に役割が決まり、無事に

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

取り込むことができました。この竿に使った餌は、寄せだんごに食わせはダイワ SCOPEX を使いました。ぼらひでさんが荒川で実績があるボイリーです。今日もこの餌に当たりが来たため、こぶちゃんと mi○はそれぞれの竿一本に SCOPEX を付け替えました。こぶちゃんは餌の打ち替えの時に、さきちゃんのキャスティングをコーチ。石鯛竿を強く振ることができるようになりましたが、ベイトリールのサミングがまだ少ししっくりきていないようです。ぼらひでさんの長男ユウ君が午後からのお出かけ前に荒川に顔を出してくれました。



この後、潮の動きが穏やかになり、当たりがないままお昼となりました。午後1時、ぼらひでさんが用事を済ませるために竿を離れます。「小一時間ほど戻ります。」ぼらひでさんが自転車で姿が見えなくなってから15分ほど経過。預かった受信機がピピピ…。話をしていたこぶちゃんと私はぼらひでさんの竿に駆け寄ります。オフ会ではよくこういう場面に遭遇しますが、本人がすぐ戻る場合は竿を上げずに指でラインの出をコントロールして待ちます。しかししばらく戻らない今回は、気が進みませんが竿を取ることにしました。こぶちゃ

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

んにタモ入れしてもらい後を振り返ると、野球場に来ていた大勢のギャラリーがいつの間にかびっしり並んでこちらを見ていました。あまりの多さにびっくりし、タモを水に浸けたまま鉤を外してリリース。念のため本人に後で見せるための写真をパチリ。当たった竿は一本目と同じで餌は SCOPEX でした。

この後、mi○の竿に当たりがありましたが、リールを巻き始めて間もなくすっぽ抜け。続いて3時半頃再び当たりが。慎重にやり取りしてこぶちゃんにアシストしていただきました。水から頭が出た時は「あ、ちっちゃい...」と思いましたが、タモに入る瞬間、異常に太った鯉だと気づきました。産卵を控えた鯉の典型的な体型です。当たった餌は SCOPEX のダブル。今日の当たり餌です。



今日は朝からずっと北寄りの風が吹き、重ね着をしないと寒い一日でした。日中太陽が顔を出すと少し暖かいのですが、陰ってくると急に風の冷たさが身に染みました。4時半に撒収開始。いつもの通り釣果はそこそこで、歓談充実の一日でした。

(レポート：mi○)

第 38 回オフ会 2012 年 1 月 9 日 隅田川

参加：ぼらひでさん、並継のこぶちゃん、さきちゃん、mi○

mi○が早朝に宇都宮を出発したとき、車のパネルに表示された外気温は－4℃。今年は冬らしい気候が続いています。温暖な冬はゴカイのバチ抜けが予想しにくいのですが、こうした冬は明確なバチ抜けが起こっていると考えられます。東の空低く満月が見えます。バチ抜け前の申し分ない潮回りのはずですが、寒鯉は当たり外れが大きいのが特徴です。果たしてどんな結果が待っているのでしょうか。



7時過ぎに申し合わせた場所に到着すると先客が竿を出していたため、テラスをしばらく歩いて場所探しをしました。間もなくこぶちゃんとさきちゃんが台車に荷物を積み込んで到着。竿をセットしている間にぼらひでさんも自転車でも到着しました。第一投目が終わった直後に、先客がいた場所が空いたとぼらひでさんが教えてくれたため、急遽みんなで引っ越しをしました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

こぶちゃんが用意してくれた炭火で暖をとりながら当たりを待ちます。こぶちゃんは昨年暮れに完成したばかりの自作の和竿「隅田川スペシャルⅣ」を使っています。布袋竹（ホテイチク）と淡竹（ハチク）を素材に、丹念な仕上げを施した工芸品と呼んでもおかしくない鯉釣り用和竿です。素材入手から数年、鯉釣り竿として製作を始めてから約一年の歳月をかけた竿です。今回がはじめての実釣テストとなります。

皆の期待を受けて、その和竿に本日最初の当たりがありました。時刻は11時半。60センチ台の鯉でしたが、問題なく取り込んで、まずはこの竿の試釣第一段階はクリアしました。80から90台をターゲットにした竿ですので、余力があり過ぎた感じがします。いずれ竿の限界まで引いてくれる大物を期待します。



ぼらひでさんがお昼の買いだしに行き、鍋の食材と焼きたての餃子を持って帰ってきました。まずは熱々の餃子から「いただきますーす!」。しょう油を付けないでそのまま食べても十分美味しい。炭火

の前で寒さを堪えていたさきちゃんも、この餃子で元気が出てきました。次に炭火に鍋をかけて次々に具を投入していきます。次第に高まる空腹感の中で、鍋から立ち上げる湯気が寒さを忘れさせてくれます。グツグツ煮込んでから皆で再び「いただきますーす!」。鍋が空になっては残った汁に具を追加し、これをつつきながら四方山話に花が咲きました。

午後1時、またまたこぶちゃんに当たり。今度はグラス竿の隅田川スペシャルⅢに当たりです。ぼらひでさんがタモのアシストをして無事に取り込み完了。少しサイズアップして、70センチ台の丸々とした鯉でした。

ここで本日使用しているタックルを紹介します。こぶちゃんとさきちゃんは、竿は隅田川スペシャルⅠからⅣ、リールはダイワ トーナメント石鯛SS-30SH遠投など。ぼらひでさんは竿がダイワ船竿HSシーパワー30-270、リールがABU7000iHSN。mi○の竿は拙者の石鯛、リールがABU CARPMASTER。顔を合わせるたびに、それぞれ少しずつタックルが変化しているのを見るのも、オフ会の楽しみのひとつになっています。

4時に撤収開始。私が竿を上げるとハゼが釣れてきました。35号の錘を使っているため、喰いついても錘に負けて動くことができなかったようです。鉤をはずしてチャポンとリリース。今年初釣果は自身初のハゼでした(笑)。さきちゃんにシャッターを切ってもらいました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

釣れる条件がそろった日ではありましたが、結果的に釣果はこぶちやんだけの2匹だけ。しかし、餃子と鍋を囲んで会話が大いに盛り上がった一日でした。



(レポート : mi○)

第 37 回 2011 年 11 月 12 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○

荒川オフ会を 10 月に開催できないかとぼらひでさんから打診されましたが、mi○はどうしても参加できそうになかったため、今回は MCF 史上初の mi○不参加となるどころでした。ところが、ぼらひでさんとこぶちゃんが相談してくださった結果、11 月 12 日ならピンポイントで開催可能ということになり、いつものメンバーで集まることができました。今回はいつもの荒川オフ会と趣を変え、こぶちゃんが得意とする場所を会場に選びました。ここは、さきちゃんが初めて鯉を釣った場所でもあり、こぶちゃん親子にとってはホームグラウンドです。



こぶちゃん親子とぼらひでさんが現地に着いたところ、mi○は首都高の渋滞にはまっていた。最近首都高の某所が開通したため、車の流れが以前と変わって渋滞が起きやすくなったということです。ほとんど進む気配がないため、首都高に入って間もない所で一般道に降りました。それから時間をかけてやっと辿り着いたかと思ったら、

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

今度は最後駐車場に辿り着く道に迷ってしばらく巡回してしまいました。かれこれ皆から1時間半くらい遅れて到着。やっとの思いで合流することができました。上流から、こぶちゃん、さきちゃん、mi
○、ぼらひでさんの順に竿が並びました。

朝の時間帯は所々で魚の気配があるものの、誰にも当たりがないまま過ぎます。気温がどんどん上昇し、この時期としては珍しくシャツ一枚でもいいくらいになりました。芝の上にシートを敷き、寝転がるととてもいい気持ち！帽子で目を隠すようにしてしばらくうとうとしました。

11時前、ついにリールのクリックが鳴り響きます。当たったのはさきちゃんの赤い竿、フルフィールド伝承。さきちゃんはゆっくり寄せてお父さんが慎重にタモ入れ。この秋はじめて釣りに来たこぶちゃん親子。久々の鯉で大いに盛り上がります。次に来たのもさきちゃんの赤い竿。12時半頃でした。隣の竿にラインが絡んで少し手こずりましたが、これもなんとか寄せて、またまたお父さんがタモ入れ。親子の絶妙な連携が出来上がっています。



さてぼらひでさんは、今回新しいタックルで挑んでいます。しばらく使っていたカーブロッドとロッドポッドを卒業し、ダイワのシーパラダイス磯5-400（スピニング用）にしました。これは海上釣堀ロッドとして人気があるもので、この護岸のように足元まで寄せるには絶好の調子です。是非この竿で取り込むのを見たいものです。

mi○は荒川用タックルであるフルフィールド名礁石鯛410とABU CARPMASTER。釣り場に応じてタックルや釣法を使い分けるのも楽しみのひとつです。

さきちゃんの2匹目の当たりの後ぱったりと途絶え、それぞれのんびり歓談して過ごしました。スカイツリーも間近に見えて、誰からともなく「オープンしたらオフ会の後に行ってみる？」。

ところで、最近の荒川では釣り人の姿が少なくなったとのこと。かつて通いつめていらしたシルバー世代の方々をお見かけしなくなったとか。若い人達からみると、もうすぐ私達はそのシルバー世代に見えるのかも（笑）。

午後3時を過ぎると急に寒さを感じてきます。4時に撤収を申し合わせました。こぶちゃんによると、さきちゃんが一番多い当たりパターンは、竿を撤収しはじめると当たるというもの。この時期の潮の動きが関係しているものと思われ、決して偶然ではないと考えられます。

そして、今回もそれが起こりました。4時少し前、こぶちゃんが撤収をしている最中に、またまたさきちゃんの赤い竿に当たり。伝承を

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

手に取り、ゆっくりゆっくり取りするさきちゃん。今日は完全にタモ係に徹するこぶちゃんはタモを持ってスタンバイ。「良く釣るなあ」と感心しきりで見守るぼらひでさん。これも無事に取り込み、満面笑みのさきちゃんを mi○が記念撮影。ひとりで鯉を持ち上げるのも、どんどん上手になっていきます。



本日の釣果は、さきちゃんの3匹のみ。他に mi○の竿に撒収間際にジャミと思われる反応があっただけで、他は一切反応なし。当たり竿が一本しかないこれほどはっきりしたパターンも稀です。

次回の開催は冬の隅田川でゴカイを使った寒鯉釣りの予定です。お楽しみに。

(レポート：mi○)

第 36 回 2011 年 10 月 1 日～2 日 常陸利根川

参加：煮込みマッチョさん、中ソンさん、mi○

一足先に北浦入りした中ソンさんに続き、1 日土曜の 0 時を回ってから mi○と煮込みマッチョさんが到着しました。震災の影響で北浦は通行止めになっている区間が多いため、今回は 3 人とも初めて入釣する場所になりました。周囲には釣り人は入っていません。暗がりの中注意深くヘッドライトで障害物を確認しながら餌を打ちこんで就寝。

3 人とも当たりがないまま朝を迎え、寝不足の目をこすりながら遅い朝の挨拶を交わしました。しばらく歓談後、煮込みマッチョさんが買物に出かけた時、護岸工事の業者の車がやってきました。「あれ？」と思って見ているうちに、最も下流側に入った中ソンさんの前で工事が始まりました。現場監督らしい人に「今日はどこまで作業するんですか？」と聞くと、「ずっと向うの方まで」と煮込みマッチョさんと mi○の竿の方を指しました。これはまずい！中ソンさんは仕方なく竿の撤収を始め、mi○は買物に出た煮込みマッチョさんを携帯で呼び戻し、自分の竿も撤収しました。これは予想外のアクシデントでした。

急遽会場を引っ越すことになったものの、例年よりも場所の選択肢が極端に少ないため、車を降りては 3 人で相談してまた車を走らせるという繰り返しとなりました。次第に下流へと向かい、行きついた先

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

は常陸利根川です。どっちかという春のポイントかなと思いつつ、ちょうど並んで竿を並べられる十分なスペースがあったため、そこに落ち着くことになりました。誰も竿を出したことがないポイントです。午後2時前にセッティングが終了。上流から煮込みマッチョさん、中ソンさん、mi○の順に並びました。

最初の当たりは中ソンさん。夕方5時少し前でした。可愛いサイズだったため、水から上げずに鉤をはずしてリリース。サイズアップを祈って餌を打ち返します。その頃ちょうどちゃんこ鍋が出来上がり、マッチョさんの車に設置したタープの下で楽しい食事となりました。鍋一杯のちゃんこを3人でたいらげ、「もう腹が一杯だ・・・」といいつつ、しばらくする今度は中ソンさんが持参したでっかいステーキを炭火でジュージュー。これも3枚たいらげ、次はマッチョさんが持参したモツとチキンを炭火でジュージュー。これも完食しました。



食事の合い間にmi○に4回当たりがありました。最初の当たりは手前まで寄せたところすっぽ抜け。「大したサイズじゃないや」と思ったのが鯉に伝わったのか、自然にリリースした形になりました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

マッチョさんが「これはナチュラルリリース」と命名。この後の3回のあたりは無事岸まで寄せ、型を確認して水から上げることなくマッチョさんがペンチで鉤を外してくれてリリース。完全に数釣りのパターンにはまっています。

余談ですが、ここ数年膝を患っていたマッチョさんですが、最近パワーリフティングを再開し、再び昔のマッチョな体型に戻っていました。伝承540Hの竿とマッチョさんの腕っ節なら、たとえ巨大なオオだろろうが簡単に寄せることができそうです。

夜の11時過ぎに食事会はお開き。それぞれの車に戻って就寝となりました。ところで、中ソンさんの車は今回からハイエースに変わっています。以前は軽カーに乗っていましたが、走行距離からして乗り換えの時期になったのだそうです。乗り換え後まもなく震災があって、この車で家族が一時避難するのに大活躍したそうです。



夜中に中ソンさんは2本ゲット。「どっちも今回のレギュラーサイズだった(笑)」とのこと。

翌朝8時頃、中ソンさんがいつものように早々と帰宅。夜中に良い

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

サイズがこなければさっさと引き上げるのが中ソンさんのスタイルです。その後、障害物だらけのポイントに打ち込んだマッチョさんに1本当たりがありました。さらに10時少し前に、mi○に今回最後の当たり。45m先の一本杭に打ち込んだ竿に喰ってきました。昨夜と合わせてこの竿では2本目の当たりです。オフ会ですから1枚くらいは鯉を持った写真が欲しいので、マッチョさんに撮影していただきました。サイズは77cm。

午前11時頃マッチョさんとmi○は撤収。3人の釣果は中ソンさん3本、マッチョさん1本、mi○4本。これがすべて良型なら大満足ですが、それは欲張りというもの。突然の場所移動を余儀なくされ、結局1泊の釣行のようになってしまいましたが、炭火を囲んでうまい食事と楽しい会話を楽しみ、満足なオフ会となりました。



(レポート : mi○)

第 35 回 2011 年 5 月 15 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○

恒例の春の荒川オフ会を開催しました。GW に異例の荒川釣行会をやりましたので、オフ会との区別がつかなくなりそうですが、5月中旬がオフ会の時期ということで強引に区別しました。メンバーはこぶちゃん親子、ぼらひでさん、mi○の4人。日曜日の晴天とあって大勢の人が河川敷で野球をやることが予想されます。潮は大潮前の中潮でもなく不可もなく。すっかりヨーロッパタックルに統一したぼらひでさん、石鯛竿の継ぎ竿に大型リールのこぶちゃん、石鯛短竿に **Carpmaster** というライトベイトタックルの mi○。それぞれが好きなスタイルで当たりを待ちます。

朝から頻繁に大型のもじりが見えますが、それでも食わないのがここ数年の荒川です。朝9時ころから当たりが期待できますが、誰の竿にも反応がありません。10時を過ぎたとき、ぼらひでさんのラインが引き出されます。竿から離れてこぶちゃんと歓談中のぼらひでさん、最初は気がつかずにあわてて駆け寄りやり取り開始！こぶちゃん



がネット、mi○がカメラを持って続くと、いい感じでしなっていた竿がふっと軽く。残念ながらハリはずれてしまったようです。気を取り直してぼらひでさん、次の餌を投入。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

しばらくすると、再びぼらひでんに当たりが。さっきと同じ竿が反応しています。ネットを持つこぶちゃん、カメラを手にする mi○、さっきと同じ行動をとると、またもや竿がふっと軽くなるぼらひでさん。回収した仕掛けを見ると、誘導仕掛けが完全に片側に寄っているので、確実に食ってハリスを引っ張った証拠。ハリもいつもと同じ。もちろんオモリもハリスもすべていつもの通り。でもハリが抜ける。少し気落ちしながらも、入念にハリ先を研ぎ直して餌を投入。ちなみに当たりがあったこの竿はダンゴに食わせコーン。

本日の貴重な一匹お昼を食べて歓談していると、mi○は強烈な睡魔に襲われてお昼寝。暑いほどではない陽気の中で、顔に帽子を乗せてしばらくスースーと気持ちよ〜く休んでいると、自分のセンサーが鳴りラインがギーッと出されます。飛びきて竿を手にすると、かなり上流に向かって走り、こぶちゃんのラインに絡んでいます。静かに寄せてこぶちゃんのラインを掛けたまま、ぼらひでさんがネットイン。ランディングした鯉を見て、「頭の大きさからするとしっぽの方がも



う少し大きくないとね。」と三人で評論。何はともあれ、mi○にとっては今年の初鯉なので、さっそく記念撮影。幸い球場では試合中だったせいか、撮影中にギャラリーに取り囲まれなくて済みました。

MCFのアイドルさきちゃんは携帯を打ったり、お昼寝したりしてのんびり過ごし、こぶちゃんは餌の投入時間をきっちり管理して打ち返しています。こぼれた餌を狙って、こぶちゃんの周りに鳩が3羽降りてきました。この場所でいつも見かける鳩で、釣り人慣れしているようです。こぶちゃんが手に餌を乗せて差し出すと、鳩は手の餌をついばんでいます。「区によっては鳩に餌やりは禁止だけど、ここは大丈夫だよな。」と話しながら、しばし鳩と遊びました。

少し離れた場所に竿を出している地元の方とぼらひでさんが話をして知ったことですが、荒川の主として有名な関口さん（第8回オフ会 隅田川 2003年1月19日 参照）が、二年ほど前にお亡くなりになったそうです。体調を崩されつつも最後まで鯉釣りを楽しんだとのこと。穏やかなお人柄が偲ばれます。

さて、mi○の一本の後が中々続きません。2時前になってぼらひでさんに当たり！今まで反応がなかった竿からラインが出ています。みんなで期待しながら駆け寄ると、またまた竿が軽くなってぼらひでさんがっくり。「ぼらし3連荘ははじめてだよ・・・」このあと4人で記念撮影をしますが、がっくりの表情のぼらひでさん。（実は演技です：笑）

2時を回ったところで、今日は撤収。「帰ったらカラオケ行こうよ。」とお父さんに言っているさきちゃん。「これから区議会の選挙に行こう。」とぼらひでさん。mi○は帰ったらMCFの更新をする予定。天空にそびえるスカイツリーを背に荒川の土手を越えました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



(レポート : mi○)

第 34 回 2011 年 1 月 15 日 隅田川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○、カッキーさん（ゲスト）

寒さが本格化する中、冬のオフ会を隅田川で開催しました。オフ会開催直前に、ぼらひでさん、並継のこぶちゃんそれぞれから「十分な量のゴカイが確保できた。」との連絡がありました。荒川ではバチ抜けが暦通りにならず、餌の確保が難しいシーズンとなりましたが、ふたりの努力の甲斐があって無事開催となりました。残る心配は当日のコンディションです。

mi○が会場に到着すると、すでにこぶちゃんとさきちゃん親子、ぼらひでさんがセッティング終了していました。こぶちゃん親子は愛竿「隅田川スペシャル」をセット。ぼらひでさんはスピニングとベイト両方のタックルをセットしています。さらにぼらひでさんは、自作の竿掛けがモデルチェンジしていて、よりシンプルで機能的に進化していました。こぶちゃんの芸術的なタックルを見るのも、ぼらひでさんのタックルの進化を見るのも、オフ会の楽しみのひとつです。mi○はいつもの「拙者の石鯛」を使用。

今回のオフ会開催の連絡を mi○からカッキーさんに入れておきました。カッキーさんは仕事のスケジュールが詰まっていることがブログでわかっていたので、当日は参加できないのではないかと考えていましたが、「仕事の前か後に顔を出します」とのメールが来ましたので、四人は楽しみに待つことにしました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ここで、カッキーさんについて簡単にご紹介しておきます。フジテレビの番組「ペケボン」でお馴染みの落語家、三遊亭歌橋（かきつ）師匠です。自らキャプテンを務める芸能界鯉釣り軍団を旗揚げするほど、大の鯉釣り好きです。当日は新宿末廣亭の高座が昼の部であつて、残念ながら一緒に竿を並べることはできません。

さて、肝心の釣りの方ですが、朝一番には岸寄りで鯉のモジリが多数見られましたが、期待を余所に午前中まったく当たりがありません。「潮の動きからして午後に期待するしかないかなあ・・・」などと話しながら、お昼の準備を始めました。こぶちゃんが準備した炭火を使って、ぼらひでさん特製、おでんベースのMCFヤミナベ

(笑)。やがて鍋がグツグツとなつて、「いただきます～す！」寒さで身が縮む中、フーフー言いながら食べると、あっという間に鍋が空っぽになりました。



その後も見事なまでに当たりがありません。隅田川釣行で、完全ボウズは初かもしれません(笑) 午後も時折鯉のモジリが見られますが、なぜかゴカイ餌には全く興味がないようです。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

あきらめムードが漂う午後3時過ぎに、カッキーさんがやってきました。実は去年対面していましたが、お互い相手が誰か気がつかないでいて、後日わかったという経緯があります。そんなわけで、相手を認識して会うのは今回が初めてとなります。しかし、カッキーさんはTVによく出演されており、一方MCFメンバーはHPでお馴染みで、お互い初対面の気がまったくしません。すぐに打ち解けて歓談することができました。



「あ、あれが隅田川スペシャルですか。」とカッキーさん。

「ちょっと触ってみませんか？」とこぶちゃん。

こぶちゃんの竿を手にしてかなり遠慮気味にキャストイング。思い通りにいきませんでした、気を取り直してさっきよりも強くキャストイングしたところ、完璧に着水。さすがコツを掴むのが早いカッキーさんです。まったく気取ったところが無く、温厚な性格はTVのままです。普通の会話でも語尾まで丁寧に話すところはさすがにプロだと思います。しばらく歓談後、カッキーさんから記念の品を頂き、それを手にみんなで記念撮影しました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



夕刻から次のスケジュールがあるとカッキーさんは帰宅され、それを機に皆撤収を開始しました。隅田川初ボウズではありましたが、いつにも増して楽しい一日を過ごすことができました。

「このままじゃあ終われないよねえ！またスケジュール合わせて来ようね。」と口々にしながらの解散となりました。

(レポート：mi○)

第 33 回 2010 年 11 月 6 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○

秋晴れの元、お馴染みのメンバーが荒川に集い、秋のオフ会を開催しました。



朝 7 時過ぎにぼらひでさんと mi○が会場に到着した時、先に年配の方が竿を出していました。いつもの竿の位置からずれた場所にセッティング。並継のこぶちゃん親子は、少し遅れて到着しました。

本日は大潮。下げに伴って草などのごみが流れ、ラインに掛ります。次第に重くなってセンサーが頻繁に ON。その度にラインを緩めたりしてごみははずし、再びセット。ぼらひでさんによれば、これでも前日の状態からはだいぶごみが減ったのだそうです。「9 時過ぎあ

たりから釣りになるから。」ぼらひでさんの言うとおりに、次第に下げが穏やかになるとごみは掛らなくなり、落ち着いて釣りができるようになりました。

ぼらひでさんは岸から30mくらいのところにある一本の杭に鯉が回遊してくると読んで、下げ潮を計算に入れて杭よりも上流にロッドポッドをセットし、杭から下流にキャストしました。餌は寄せダンゴに遊動二本バリ仕掛けを付け、食わせにはコーンとダイワカープベイツ SCOPEX。

ぼらひでさんと mi○が話をしていると、目の前のロッドポッドに当たり！ロッドを三本並べていますが、反応があった真ん中のロッドをぼらひでさんが手にしたところ、どうやら右のロッドに当たってラインがクロスしているらしく、あわてて持ち直してファイト開始。ラインのクロスを解消しようとテンションを緩めた瞬間、痛恨のバラシ！気落ちしながら仕掛けを回収すると、遊動仕掛けのカープベイツ側が長くなっていたため、これに食ってきたことがわかりました。

鯉のハネはありますが、午前中はぼらひでさんの当たりのみで時間が経過します。次第に気温が上がり、ぽかぽか陽気の中、こぶちゃん親子は芝生に敷いたシートの上でスヤスヤお休み。

潮が上がり出したところで、ぼらひでさんはロッドポッドを目標の杭よりも下流に移動し、再び杭の下流にキャスト。上げ潮に乗ってくるごみ対策も万全な状態で当たりを待ちます。潮の変化が著しい汽水域においては、簡単に移動できるロッドポッドはとても有効で

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

す。

午後になって再びぼらひでさんにヒット！餌交換をしようとしていたmi○は、これに気がつかずにいました。ぼらひでさんが妙に落ちていたトーンで「当たったよ」。見るともう岸まで寄せていて、ネットを待っている状態です。急いで駆けつけ、ネットイン。ランディングの時のずっしりとした手応え。荒川の鯉は全般に太っていますが、その中でも特に太った良型の鯉です。ヒットしたのはまたもやダイワSCOPEX（スイーツ）。今日のコンディションでは、コーンを超えるカープベイツです。重さに腕を震わせながら写真撮影。最初は日本式ショット（左の写真）で、二枚目はシルヴァンさん風のショット（笑）。



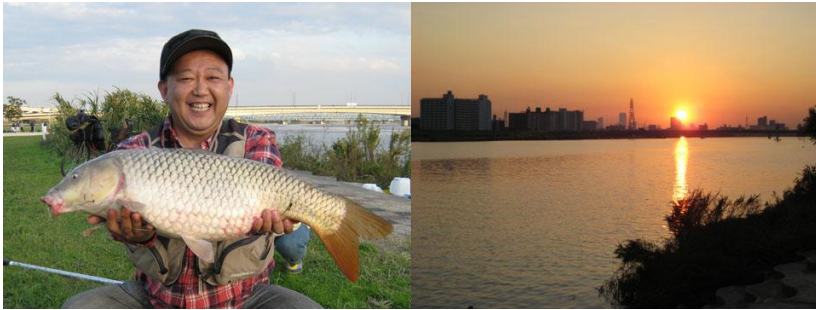
しばらくすると、こぶちゃんの奥様が自転車で登場。嬉しいことに、途中のコンビニであんまんを買ってきて下さいました。遠慮なくすぐにパクパク。

川の向こうに見えるスカイツリーが、だいぶ高くなってきました。工事途中の写真は今しか撮れないので、今回の記念撮影は、このスカ

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

イツリーを背景にすることにしました。来年の秋のオフ会の頃には完成間近になっているはずです。

四時に撤収開始を申し合わせ、残り15分ほどになったとき、ついにこぶちゃんに当たりがありました。昨年からはボイリーを一切やめて、ダンゴと食わせに徹しています。ねばりにねばってついに70cmをゲット！こういう食い渋りのコンディションでは、一本がとても嬉しく感じられます。



夕焼けを眺めながら帰宅気がつくと、西の空低く太陽が落ちかかっていた。都会の夕陽はとても大きく見えます。さきちゃんとこぶちゃんはそれぞれ携帯で夕焼けを撮影。夕焼けを眺めながら、冬のオフ会での再会を誓って四人は帰路につきました。

(レポート：mi○)

第 32 回 2010 年 10 月 9 日～11 日 北浦

参加：煮込みマッチョさん、平石さん、中ソンさん、mi○、コウ、K野さん（ゲスト）

10月9日からの三連休、北浦において第32回MCFオフ会を開催しました。秋晴れの連休を期待しましたが、この時期としては珍しく大荒れの初日。二日目から次第に回復し、ゲストのK野さんを交えて和やかなオフ会となりました。



北浦は混雑が予想されたので、予め三か所ほど候補地をピックアップしておきました。10月8日金曜日、午後10時前に煮込みマッチョさんは最初の候補地近辺に到着しましたが、予想より釣り人が多

く、これはと思われるポイントにはズラリと車が横付けされていました。

2番目の候補地は閑散としていたため、この一帯をオフ会の会場とすることにしました。マッチョさんが底を探ってどこに竿を出すか思案しているところに、mi○親子が到着。以前から気になっていたというドック横に入りました。マッチョさんは、そこから少し離れた岬の脇にある水門と杭周りに決定。足元から水深があり、油断するとすぐに絡まれてしまいそうなほどの本数の杭があり、いかにもと言った雰囲気のポイントです。時計を見ると、いつの間にか日付が変わっていました。

マッチョさんは夜明けまで仮眠しようと思いましたが、明け方は雨の予報のため結局3時近くになって餌を投入することにしました。何回か投げ直してどうにか思い通りのポイントに。幸い根掛かりはありません。2本目の竿にコマセを撒いていると3本目の竿がギーッという音。まだコマセを撒く前の竿にアタリ！最も密になった杭の間に入れた竿に食ってきたのは80cmジャストの鯉でした。投入してから



5分の釣果。これでやっと仮眠する気になったマッチョさんは、カープ犬はなと一緒に車中でウトウトし始めた矢先に、再びセンサーが鳴りました。今度は84cmの鯉。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

9日(土)は次第に天気が崩れ、茨城県は大雨洪水注意報が出る始末。車から出るのも最小限に抑えて、車中で食事を摂ったりして時間を過ごします。マッチョさんとmi○は携帯で連絡を取ると、「こんな大荒れの最中はあまり当たらないよね」 実際、この日はお互い当たりがなく過ぎました。

この日の深夜から雨が弱まり、mi○に75cmくらいの鯉が当たりました。0時頃到着した平石さんと中ソンさんが、水門の両サイドの竿をセットし終わりました。水門は離れた場所だったので、ふたりが現地に到着した頃、熟睡中のmi○は到着に気がつかず、翌朝挨拶することになりました。また、ゲストのK野さんもこの夜に到着しました。K野さんは煮込みマッチョさんと、以前から利根川で一緒に竿を出している仲です。

10日(日)は午前中一杯降ったり止んだりの天気でしたが、午後から陽射しがあって次第に回復してきました。時折パラパラと雨が落ち



ちて来るので、煮込みマッチョさんの車の横にブルーシートを張って、タープ代わりにしてオフ会本部を設営しました。

この日、平石さんは80cmと85cm、中ソンさんは60cm、70cm、80cmときれいに数字を揃えました。夕方、草の切れ間からマッチョさんが竿を出してミャク釣りをすると、60cm

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

くらのアメリカナマズが食ってきました。目の前でそれを見ていた
コウは、初めてアメナマの実物を見て大喜び。こういう外道はかえっ
て新鮮なのだそうです。

オフ会本部では、mi○親方?による塩味チャンコ、煮込みマツチ
ョさん持参のもつ煮込み、そして中ソンさん持参の、これもお馴染み
の特製ソーセージを食べながら、夜まで歓談が続きました。日が完全
に沈むと、空は見事な星が輝きます。ここで新たな発見！煮込みマツ
チョさんは、天文ファンだったのです。やけに星座の名前や星の位置
に詳しいと思ったら、これから大きい望遠鏡とカメラを買って、自分
で天体撮影を始めようとしているそうです。参加者はしばし少年に戻
ったかのように満天の星を眺めました。



その時、本部に横付けした mi○の車からセンサー音。急いで車に
乗り込み、少し離れた竿に駆けつけます。オフ会は皆が集まっている
時の当たりが、最高に盛り上がります。60cm強と残念なサイズで
したが、次々とメンバーが竿に駆け付けてくれて、mi○はなんだか
恥ずかしいような、申し訳ないような気分になりました。しかし、一

瞬でもこうしてドキドキ感を共有したことは、オフ会の醍醐味と言えます。

最終日の11日(月)は、中ソンさん、平石さん、mi○は昼ごろ撤収。皆で集合写真を撮ったあと、しばし歓談して解散となりました。カープ犬はなは、いつも愛嬌を一杯振りまいて皆を和ませてくれます。2歳半になったとのことですが、現在体重が19kg。マッチョさんが溺愛しているせいか、ちょっと太めになっちゃったようです。

今回のオフ会は、大物には恵まれませんでした。中ソンさんの久々の参加、K野さんのゲスト参加があって、楽しい時間を過ごすことができました。みなさん、また来シーズン会いましょう。

(レポート：mi○)

第 31 回 2010 年 1 月 30 日 隅田川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、ユウ君、mi○

いつもの顔ぶれ二年ぶりに冬のオフ会を隅田川で開催しました。今年完成したばかりの自作ロッド「隅田川スペシャルⅢ」の実釣テストを楽しみにする並継こぶちゃん親子、新たに船竿を二本揃えたぼらひでさん親子、そして mi○のいつもの顔ぶれが参加しました。



朝 7 時半、こぶちゃん親子が一足先に、続いて mi○が現地に到着しました。ぼらひでさんは用事があったて少し遅れて到着。思い思いに竿をセットし終えて当たりを待ちます。今回も餌のゴカイはこぶちゃんが用意してくれた荒川産のゴカイです。「How to」で紹介したように、荒川の水に新聞紙を入れ、その中で 2 週間飼育していたゴカイ

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ですが、その間一匹も死ぬことなく最高に活きのいい状態で、新聞紙ごとタッパーに入れて持ってきてくれました。

8時過ぎ、さっそくこぶちゃんに当たりがきました。期待していた通りに隅田川スペシャル3 (SS3) の当たりです。こぶちゃんは竿を手に取り、調子を確認するようにじっくりとやりとりを味わい、いつもより時間をかけてからネットイン。68cmの今シーズンの初鯉をゲットしました。SS3を使った感想を紹介します。

<こぶちゃんより>

SS3に68cmでは小さ過ぎます...80オーバーとのやりとりを楽しみたいです！SS3の素材と出会い、櫻井の四代目と調子のチェックをしていた時に感じた「大物を掛けてみたい竿」が、イメージ通りに完成し満足しています！！



午前中はこの一本のみで当たりが途絶えてしまいました。ぼらひでさんはゴカイ餌とポップアップボイラーを使って攻めますが、反応が

ありません。時々良型の鯉がもじるのが見られますが、なぜか食ってくれない。30号錘対応180cmの竿の活躍が待ち遠しいです。

こぶちゃんが準備してくれた炭火で暖をとりながら、みんなで歓談して当たりを待ちました。お昼頃、ぼらひでさんの息子さんのユウ君が到着。これでメンバーが揃いました。各自持参したバーナーを使って暖かい食事をします。この冬は日中の気温が高いため、この時間になると上着を一枚脱いでもいいくらいの天気です。

午後2時、ふたたびこぶちゃんに当たりです。またもやSS3。しかし隣の竿のラインの絡みをとっているうちにフックが外れ、残念ながらばらしてしまいました。

それから30分後やっとmi〇にヒット。竿の感触から小型とわかりましたが、石鯛竿としては超軟調の「拙者の石鯛400替え穂先」を使っているため、ゆっくりやりとりを楽しんでからこぶちゃんにランディングしてもらいました。鱗が不揃いな60cmくらいの鯉でした。

4時くらいに撤収を予定していたため、片付けを始めようかとしていた3時半、隅田川スペシャル1に当たりが来ました。さきちゃんが竿を手にとると、一気にラインが沖に向かって走ります。今日一番いい感じの引きを、みんなで見守ります。部活で筋力がどんどんアップしているさきちゃんは、鯉の引きに余裕で対応できるようになりました。お父さんが構えるネットに口を水面から上げた状態で鯉を滑り込ませます。ランディング後の計測で70オーバーを確認し、最高の笑

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

顔で写真撮影。

こうして4回の当たり、3本の釣果で本日終了。「この冬、できればもう一回くらい集まりたいね」と言いながらの解散となりました。



(レポート : mi○)

